

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H30	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	多様な生徒の学びのための本校の取り組み	「学ぶ意欲のある生徒は受け入れる」という方針の公立高校。単位制かつ教育課程上での年次科目配列がありスクーリングの重複がある課題、年度途中入学者のスクーリング時間数確保の工夫を述べ、年間修得単位数0や、卒業できない生徒の増加を課題にあげる。	山形県立鶴岡高校
H30	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して	私学女子高でミッションスクールでの通信制であり、文科省委託事業として支援体制とアセスメント方法を研究した事例。カリキュラム・マネジメントの試みを行い、生徒の特色を踏まえて総合的な学習の時間や学校設定科目、ボランティアを重視している。	仙台白百合学園高校
H30	3	東北・北海道地区通研大会	進路指導	働き学ぶ生徒への進路指導～指導事例を通して	通信制高校で働き学ぶ者が減る中で、だからこそ生じる働き学ぶ者への進路指導の課題を検討。20代後半～30代女性の進学希望者が増加しつつも入試に伴う困難、新卒就職する場合の課題、高卒だけでは現状が変わらないことに伴う課題を事例で提示し、解決を模索。	北海道有朋高等学校
H30	4	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校の進路指導の取組について	県内通信制の改編に伴い、平成24年度に開校の高校。全員に進路決定を迫る全日的対応ではなく自発性に基づいた個別の進路指導を重視しており、進路行事や進学支援、キャリア講座の実際と成果を紹介。残る課題としてアルバイト継続や進路未定への対応をあげる。	宮城県美田園高校
H30	5	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校の現状と課題	進路指導上の課題として、非社会的生徒の増加や生徒の希薄な進路実現意識、保護者の経済環境・職業意識に関わる課題、教員の通信制課程への理解不足などを提示。教員の地方労働市場環境への認識不足や、職業類型・学問類型への認識不足なども指摘している。	福島県立郡山萌世高校
H30	6	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	本校の生徒指導について	中学入学後すぐと全日制からの転編入生が中心での高校で、不登校経験者も多い。生徒は素直で落ち着いているが、基礎学力や社会性、コミュニケーションでの課題も持つ。生徒指導では生徒の動向把握と服装等の指導を中心に、安心できる学習環境の提供を重視する。	青森県立北斗高等学校
H30	7	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	スクールソーシャルワーカーの有効的な活用	8割の生徒が中学校・前籍高校で不登校経験があり、学習評価の上位者と下位者の差も大きいことを踏まえ、生徒指導の面では問題行動の懲戒処分ではなく、未然防止や注意喚起と支援を重視する。体制面ではスクールカウンセラーとSSWを配置し、事例も紹介。	秋田県立秋田明徳館高等学校

H30	8	東北・北海道 地区通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による 協議)		
-----	---	------------------	------	------------------------	--	--